

公共政策の経済評価

Economic Evaluation of Public Policies

2007年度後期 月曜日4限, 金曜日2限, (実習月曜日5限)

科目概要

政策形成をより合理的なものに改善していくためには、政策分析の質的向上が必要である。政策分析の流れは、①現在直面している問題の構造を明らかにする、②問題を解決するための政策代替案を構想し、設計する、③各政策代替案のインパクト（効果・影響）を予測する、④適切な評価基準にしたがって政策インパクトの評価を行う、⑤これらの分析結果を基礎に政策提言を行うといったものである。現実の具体的な政策課題について、これらの各ステップを有効に遂行する能力を養うのがこの科目の目的である。

豊富な事例を用いながら、政策分析に必要な各種の手法を教え、それらを現実の政策課題に適用する能力を養う。カバーするトピックは、(1)費用便益分析の理論的基礎、(2)社会的割引率、(3)リスクと不確実性、(4)存在価値、(5)需要曲線の推定による便益評価、(6)ヘドニック法、トラベルコスト法等の顕示選好法、(7)CVM、(8)シャドープライスの設定法、(9)社会実験による政策評価等である。また、公共投資、規制政策等の事例の検討も行い、具体的な事例に関する評価レポートの提出が要求される。

なお、経済学及び統計学の素養が前提となるが、高度な経済学的分析を追求するものではなく、前提とする水準は「経済学基礎」及び「統計分析手法」程度である。

以下の科目が前提履修科目である（同時履修も可）。

- (1)ミクロ経済学、あるいは経済学基礎
- (2)計量経済学、あるいは統計分析手法

成績評価

中間試験、最終試験、練習問題、政策評価レポート、授業における発表と参加度による。ウェイトの目安は、掲載順に、20%、30%、15%、30%、5%である。

日程（変更の可能性はある）

- 10月5日：イントロダクション：政策分析と費用便益分析
- 10月12日：費用便益分析の基礎
- 10月15日：費用便益分析の基礎
- 10月19日：政策評価事例：高速道路
- 10月22日：割引率
- 10月26日：市場財の評価：需要曲線の推定
- 10月29日：効用関数と需要関数Ⅰ：CES, 2次関数
- 11月2日：効用関数と需要関数Ⅱ：ロジット
- 11月5日：政策評価事例：空港投資
- 11月9日：顕示選好法：ヘドニック法、トラベルコスト法
- 11月12日：顕示選好法：ヘドニック法、トラベルコスト法
- 11月16日：CVM法
- 11月19日：テスト
- 11月26日：事例分析チームプロジェクト・ガイダンス（テーマ案についての討論）
- 11月30日：外部資料によるシャドープライス（原単位）の設定
- 12月3日：政策評価事例：温暖化対策
- 12月7日：費用効果分析
- 12月10日：政策評価事例：市場設計
- 12月14日：リスクと不確実性
- 12月17日：社会的割引率
- 12月21日：政策評価事例：規制評価
- 1月11日：存在価値
- 1月18日：社会実験
- 1月21日：所得分配ウェイト，費用便益分析の批判
- 1月25日：テスト
- 1月28日：事例分析プロジェクト発表

教科書

Boardman, Anthony E., David H. Greenberg, Aidan R. Vining, and David L. Weimer. *Cost-Benefit Analysis: Concepts and Practice*. 3rd ed., Prentice Hall, Upper Saddle River, NJ, 2006. (2版の邦訳：『費用便益分析—公共プロジェクトの評価手法の理論と実践』岸本光永監訳，ピアソン・エデュケーション，2004年。3版で改善された章が多いので注意。) [BGVW]

金本良嗣・蓮池勝人・藤原徹『政策評価マイクロモデル』東洋経済新報社，2006。

一般的な参考文献

(1) 政策分析に関する幅広いアプローチ

Weimer, David L. and Aidan R. Vining. *Policy Analysis: Concepts and Practice*. 3rd ed., Prentice Hall, Upper Saddle River, NJ, 1999. [WV]

Weiss, Carol H., *Evaluation: Methods for Studying Programs and Policies*, 2nd ed., Prentice Hall, Upper Saddle River, NJ, 1998. (日本ではあまり知られていないが，アメリカでは1970年代頃から，福祉政策，住宅政策等の社会政策を主たる対象としてプログラム評価が行われてきている。この本はプロセス評価を主体とするプログラム評価を解説している。)

(2) 費用便益分析の経済理論的基礎

Small, K. A., "Project Evaluation," in *Essays in Transportation Economics and Policy: A Handbook in Honor of John R. Meyer*, Ed. by J. Gomez-Ibanez, W. B. Tye and C. Winston, The Brookings Institution, Washington D.C., 1999. (交通分野における費用便益分析についてのベストの解説。)

Varian, H. R., *Microeconomic Analysis*, Third Edition, W.W. Norton & Company, Inc., New York, 1992. (大学院ドクターコースの教科書として一世を風靡した。10章 Consumers' Surplus, 12章 Econometrics が特に有益。)

Jehle, G.A. and P.J. Reny, *Advanced Microeconomic Theory*, Second Edition, Addison Wesley, Boston, 2001. (大学院の教科書。4章 Partial Equilibrium が簡潔にまとまっている。)

Boadway, R. and N. Bruce, *Welfare Economics*, Lightning Source Inc, 1985. (費用便益分析の理論的基礎を解説している。易しい本ではないが，この分野の基本的な文献。)

常木 淳『費用便益分析の基礎』東京大学出版会，2000年。(費用便益分析の理論的基礎を解説。理解のためにはかなり高度な理論経済学と数学の素養が必要。)

(3) 費用便益分析の政策形成における役割

Adler, M.D. and E.A. Posner, *Cost-Benefit Analysis - Legal, Economic, and Philosophical Perspectives*, University of Chicago Press, 2000. (費用便益分析の有用性について，経済学者のみならず，哲学者や法学者が議論している。最後の，Richard Posner 判事によるまとめが秀逸である。)

Sunstein, C.R., *Risk and Reason - Safety, Law, and the Environment*, Cambridge University Press, 2002. (アメリカの行政法学者によるリスク規制に関する分析。リスクに対して合理的な政策対応をするためには，包括的な費用便益分析が必要であると主張。)

(3) 費用便益分析に関する日本語の解説書

中村英夫編，道路投資評価研究会著『道路投資の社会経済評価』東洋経済新報社，1997年。

T.F.ナス『費用便益分析：理論と応用』（萩原清子監訳）勁草書房，2007年。（T.F. Nas, Cost-Benefit Analysis: Theory and Applications, Sage Publications, 1996）

田中広滋『費用便益の経済学的分析—環境と公共分野の理論』中央大学出版部，2003年。

中井達『政策評価—費用便益分析から包絡分析法まで』ミネルヴァ書房，2005年。

（4）Web上の文献・資料

社会資本整備の費用便益分析に係わる経済学的基本問題研究会『費用便益分析に係わる経済学的基本問題』1999年11月。（費用便益分析に関する経済学的基本問題を解説。

<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/~kanemoto/bc/Fundmtl.htm>）

鉄道建設・運輸施設整備支援機構『都市鉄道の効果』（都市鉄道整備の具体例に関する詳細な情報及び分析がある。）

http://www.jrtt.go.jp/business/train_support/body_chousa.htm

テーマ別の文献リスト

* があるものは必読文献である。

1. イントロダクション：政策分析と費用便益分析

政策分析と費用便益分析

*金本・蓮池・藤原 第1章

*BGVW Chapter 1 "Introduction to Cost-Benefit Analysis"

*BGVW Chapter 2 "Conceptual Foundations of Cost-Benefit Analysis "

日本における費用便益分析

「行政関与のあり方に関する基準」（行政改革委員会）1996年12月。（最大限尊重の閣議決定がなされた行政関与の基準。「行政が関与する場合には、それによって生じる社会的便益と社会的費用とを事前及び事後に総合的に評価し、その情報を積極的に公開する」ことを求めた。<http://www.e.u-tokyo.ac.jp/~kanemoto/public.htm>）

「政策評価の総合窓口」（総務省行政評価局，<http://www.soumu.go.jp/hyouka/seisaku-top.htm>）

政策分析に関する文献

WV Chapter 2 "What Is Policy Analysis"

WV Chapter 3 "Toward Professional Ethics"

WV Chapter 16 "Doing Well and Doing Good"

WV Chapter 5 "Rationales for Public Policy: Market Failures"

WV Chapter 6 "Rationales for Public Policy: Other Limitations of the Competitive Framework"

WV Chapter 7 "Rationales for Public Policy: Distributional and Other Goals"

政策評価事例：原子力政策

原子力政策について（電気事業分科会資料）

2. 費用便益分析の基礎

*金本・蓮池・藤原 第2章 2節

*BGVW Chapter 3 "Basic Microeconomic Foundations of Cost-Benefit Analysis"

*BGVW Chapter 4 "Valuing Benefits and Costs in Primary Markets"

*BGVW Chapter 5 "Valuing Benefits and Costs in Secondary Markets"

*Small "Project Evaluation"

赤井伸郎・金本良嗣「費用便益分析における地域開発効果」『費用便益分析に係わる経済学的基本問題』第4章，社会資本整備の費用効果分析に係わる経済学の問題研究会，49-66，

(1999).

3. 政策評価事例：高速道路

*金本・蓮池・藤原 第2章 3～4節

国土交通省道路局，都市・地域整備局『費用便益分析マニュアル』2003年8月。（道路投資に関する費用便益分析マニュアル。道路局ホームページからダウンロード可能
<http://www.mlit.go.jp/road/index.html>）

国土交通省道路局，『高速自動車国道の事業評価手法について』2004年2月13日。（日本道路公団民営化に伴い，高速道路の事業評価を行った結果が収録されている。用いた評価手法の説明と評価結果に加えて，かなり詳細なデータも掲載されている。
<http://www.mlit.go.jp/road/4kou-minei/20031128.html>）

国土交通省道路局，『道路事業評価手法検討委員会資料』2003年。（費用便益分析マニュアルにおける原単位の計算方法が掲載されている。）

第1回 (<http://www.mlit.go.jp/road/ir/iinkai/1s.html>)

第2回 (<http://www.mlit.go.jp/road/ir/iinkai/2s.html>)

[評価結果と新直轄方式 \(PDF\)](#)

COBA11 (Economic Assessment of Road Schemes), UK.

http://www.dft.gov.uk/stellent/groups/dft_control/documents/homepage/dft_home_index.htm

AASHTO (2003), *User Benefit Analysis for Highways Manual*, American Association of State Highway & Transportation Officials.

4. 割引率

*BGVW Chapter 6 "Discounting Future Benefits and Costs"

5. 市場財の評価：需要曲線の推定

*金本・蓮池・藤原 第7章

*BGVW Chapter 12 "Direct Estimation of Demand Curves"

6. 効用関数と需要関数

*金本・蓮池・藤原 第6章

*城所幸弘・金本良嗣「ロジット型モデルと費用便益分析」『環境問題に対応する道路プライシングと自動車関係税制の研究』第2章，日交研シリーズ A-，日本交通政策研究会，-，(2006).

7. 政策評価事例：空港投資（三菱総研 奥村泰宏氏）

神戸空港の行政評価 <http://www.city.kobe.jp/cityoffice/39/030/hyouka.htm>

8. 顕示選好法：ヘドニック法，トラベルコスト法

*金本・蓮池・藤原 第1章

*BGVW Chapter 13 "Valuing Impacts from Observed Behavior: Other Revealed Preference Methods"

Kolstad, C.D., (1999), *Environmental Economics*, Oxford Univ. Press, Oxford, England. (邦訳：『環境経済学入門』細江守紀・藤田敏之監訳，有斐閣，2001年)

肥田野登『環境と社会資本の経済評価—ヘドニック・アプローチの理論と実際』勁草書房，1997年.

9. 事例分析チームプロジェクト・ガイダンス

[政策分析の設計](#)

*WV Chapter 10 "Landing on Your Feet: How to Confront Policy Problems"

*WV Chapters 1, 14, 15 Examples of BCA studies

[政策分析レポートの書き方](#)

*Weiss, Carol H. 1998. "Analyzing and interpreting the data." *Evaluation : methods for studying programs and policies*. 2nd ed. Upper Saddle River, N.J. : Prentice Hall. Chapter 13.

*WV Chapter 13 "Thinking Strategically about Adoption and Implementation"

10. 外部資料によるシャドープライス（原単位）の設定

*BGVW Chapter 15 "Shadow Prices from Secondary Sources"

時間価値：[アメリカ 2002年改定](#) [イギリス](#) [フランス](#) 日本 ([道路](#))

統計的生命価値：[交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査研究（内閣府，平成 19 年 3 月）](#)

<http://www8.cao.go.jp/koutu/chou-ken/index-c.html>

11. 政策評価事例：規制評価

『規制の事前評価の実施に関するガイドライン』平成 19 年 8 月 24 日，政策評価各府省連絡会議了承。

http://www.soumu.go.jp/s-news/2007/pdf/070824_1_bs2.pdf

『規制に関する政策評価の手法に関する調査研究：報告書』規制に関する政策評価の手法に関する研究会，2004。（規制評価の手法について主として諸外国の事例を紹介している。）

<http://www.soumu.go.jp/hyouka/kisei040722.html>

Office of Information and Regulatory Affairs, OMB（規制評価についてのガイドライン等がある。）

<http://www.whitehouse.gov/omb/inforeg/regpol.html>

<http://www.whitehouse.gov/omb/circulars/a004/a-4.pdf>（Circular A-4, "Regulatory Analysis" (September 17, 2003)）

http://www.whitehouse.gov/omb/inforeg/regpol-reports_congress.html（Reports to the Congress）

Regulatory Impact Assessment, Cabinet Office, UK（英国における規制評価）

<http://www.cabinetoffice.gov.uk/regulation/ria/>

12. 費用効果分析

*BGVW Chapter 17 "Cost-Effectiveness Analysis and Cost-Utility Analysis"

13. 政策評価事例：温暖化対策（野村総研 蓮池勝人氏）

*金本・蓮池・藤原 第3章，第4章

14. リスクと不確実性

*BGVW Chapter 7 "Dealing with Uncertainty: Expected Value, Sensitivity Analysis, and the Value of Information"

*BGVW Chapter 8 "Option Price and Option Value"

[公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針](#)（国土交通省，2004年2月）

[防災事業のリスク評価（案）](#)（第5回事業評価手法検討部会資料5，国土交通省，2003年5月19日）

[治水経済評価マニュアル](#)（国土交通省 2000年）

15. 政策評価事例：市場設計

*金本・蓮池・藤原 第5章

Borenstein, et al., "Measuring Market Inefficiencies in California's Restructured Wholesale Electricity Market," AER 2002.

Borenstein and Bushnell, "Measuring Market Inefficiencies in California's Restructured Wholesale Electricity Market," JIE 1999, Supplement

Newbery, D, (2000), Privatization, Restructuring, and Regulation of Network Utilities, The MIT Press.

Newbery, D.M. and Pollitt, M.G. (1997) 'The Restructuring and Privatisation of the CEGB – Was it Worth it?', Journal of Industrial economics, XLV (3), pp 269-303.

ICF Consulting, "Economic Assessment of RTO Policy," Prepared for Federal Energy Regulatory Commission, February 26, 2002.

発電コスト比較（電事連）

原子力発電の収益性（電事連）

平成15年度電気通信事業分野における競争状況の評価

http://www.soumu.go.jp/s-news/2004/040628_5.html#bt

16. 社会的割引率

*BGVW Chapter 10 "The Social Discount Rate"

*井堀利宏・福島隆司「費用便益分析における割引率」『費用便益分析に係わる経済学的基本問題』第3章，社会資本整備の費用効果分析に係わる経済学の問題研究会，(1999).

英国 [Green Book](#), [Annex](#) (PDF)

http://www.hm-treasury.gov.uk/economic_data_and_tools/greenbook/data_greenbook_index.cfm

米国 OMB Guidance [A-94](#), [A-4](#)(PDF)

<http://www.whitehouse.gov/omb/circulars/index.html>

<http://www.whitehouse.gov/omb/inforeg/regpol.html>

17. CVM 法

*BGVW Chapter 14 "Valuing Impacts through Surveys: Contingent Valuation"

Kolstad, C.D., (1999), *Environmental Economics*, Oxford Univ. Press, Oxford, England. (邦訳：『環境経済学入門』細江守紀・藤田敏之監訳，有斐閣，2001年)

栗山浩一『公共事業と環境の価値—CVM ガイドブック』築地書館，1997年。

栗山浩一『環境の価値と評価手法—CVMによる経済評価』北海道大学図書刊行会，1999年

肥田野登『環境と行政の経済評価—CVM(仮想市場法)マニュアル』勁草書房，1999年

札内川 CVM 調査

18. 社会実験

*BGVW Chapter 11 "Valuing Impacts from Observed Behavior: Demonstrations"

19. 存在価値

*BGVW Chapter 9 "Existence Value"

20. 所得分配ウェイト

*BGVW Chapter 18 "Distributionally Weighted Cost-Benefit Analysis"

「社会資本整備投資に関する評価システムの現状と課題」森杉壽芳『会計検査研究』(2002)

21. 費用便益分析の批判

*Kelman, Steven, "Cost Benefit Analysis: An Ethical Critique," *Regulation*, January 1981, 33-40

*DeLong, James, Robert Solow, Gerard Butters, John Calfree, Paulene Ippolito, and Robert Nisbet, "Defending Cost-Benefit Analysis," *Regulation*, March-April 1981, 39-43.

*金本良嗣「費用便益分析における効率と公平」『費用便益分析に係わる経済学的基本問題』第1章，社会資本整備の費用効果分析に係わる経済学の問題研究会，5-18，(1999).

Adler, M.D. and E.A. Posner, *Cost-Benefit Analysis - Legal, Economic, and Philosophical Perspectives*, University of Chicago Press, 2000.